

目次

会長就任にあたって ----- 1p	正味財産増減計算書・収支計算書 ----- 5p
第33回学術研究発表大会のお知らせ ----- 2p	学会からのお知らせ ----- 7p
代議員(社員)総会・理事会報告 ----- 4p	委員会・支部・分科会からのお知らせ ----- 8p

会長就任にあたって

地理情報システム学会会長 山本 佳世子 (電気通信大学)



理事会において理事の皆様からご推薦いただき、また、2024年5月18日(土)に私の所属先である電気通信大学(電通大)で開催された社員総会においてご承認いただき、地理情報システム学会の会長を拝命いたしました。2020-2022年度間は、新型コロナウイルス感染症が世界規模で感染が拡大していたため、本学会の社員総会、学術大会はオンラインで開催されました。この間、第15代会長

の大佛俊泰先生、第16代会長の厳網林先生を筆頭に、理事の皆様、各委員会の委員長の皆様が、学会運営で苦慮されつつ、工夫を重ねてくださいました。また、学術大会担当理事の井上亮先生をはじめ、大会実行委員会の皆様は、オンラインやハイブリッドでの学術大会を着実に実施してくださいました。この場を借りて、ここにあげた皆様、ご協力いただいた会員の皆様に、心から感謝申し上げます。

2023年度には、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したため、電通大で開催された学術大会は International Association of Geo-informatics (IAG'i)と合同で開催されました。そのため、国内外から多くの参加者の皆様がいらっしや、懇親会では飲み物や食べ物を手に歓談されていました。私は、この時に会場校代表を担当させていただき、新型コロナウイルス感染症拡大前のように、約300名の参加者の皆様が学術大会を楽しんでいらっしやる姿を拝見し、とてもうれしく思

いました。近年は様々な情報通信技術の発展が著しく、人々は離れていてもインターネットを介してつながることができますが、対面でのコミュニケーションに勝るものはないと認識いたしました。

2023年度には、事務局体制に大きな変化もありました。具体的には、本学会の事務局は、文京区の学会センタービルから株式会社毎日学術フォーラムに移転し、同社の2名の社員の方々が事務局を担当してくださることになりました。同社は2006年に設立され、学会運営に関する様々な業務を代行する学会事務局を専門としています。一口に学会と言っても、規模や専門分野は多様であり、運営方法が学会ごとに大きく異なっています。本学会の事務局を担当する2名の方々は、本学会の学会運営に徐々に習熟しつつあり、うれしく思っています。また、事務局体制の移行にあたっては、第16代会長の厳網林先生、副会長(当時は事務局長)の中谷友樹先生、事務局長(当時は事務局長補佐・財務担当理事)の山田育穂先生にご尽力いただきました。

さて、本学会は、1991年11月30日に設立し、2021年に設立30周年を迎えました。同年の学術大会の時に、記念事業の一つとして30周年記念特別シンポジウムをオンラインで開催いたしました。第4代会長の岡部篤行先生、第8代会長の村山祐司先生、当時の会長(第15代会長)の大佛俊泰先生に、ご講演をいただきました。その時に気が付いたことは、第一に、本学会がこれまでの多くの会員の皆様の様々な活動の蓄積によって成り立っており、自分達の世代でより充実させて、さらに若い世代の方々に受け継ぐ必要があるということです。第二に、各時代の学術的・社会的な必要性に対応して、会員の皆様が多様な研究をされていることです。設立当時から継続している研究、新しく始まった研究、最近ではSDGsに関

連した問題の解決を目指す研究も見られます。本学会では、産官学民のダイバーシティに富んだ環境において、様々なバックグラウンドを持つ会員の皆様の多様な視点やアイデアが交わり、新しい創造的な研究が生み出され続けているのではないかと思います。

私は、内閣府の上席科学技術政策フェローとして、第5期科学技術基本計画（2016-2020年度）の策定に関わりました。この計画には、初めて、情報通信技術の効果的な利活用を前提とした「超スマート社会」「Society 5.0」の概念が盛り込まれ、第6期科学技術・イノベーション基本計画（2021-2025年度）にも引き継がれました。これらの概念は、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させた人間中心の社会で、持続可能性と強靭性を備え、一人ひとりが多様な幸せを実現できる社会を指しています。また、これらの概念を基盤として、デジタルツイン、スマートシティ、XR（Cross Reality / Extended Reality）、メタバース、生成AIなどの技術開発・融合が進んでいます。こうした技術は、GISとの親和性が高いため、本学会の会員の皆様が新しい研究、技術開発を行う可能性が高まっているのではないのでしょうか。

私は、もともと地理学（都市地理学、計量地理学）を専攻していましたが、社会工学という専門分野でGIS研究を始め、博士号を取得しました。2006年に現在の所属先に着任後は、GISを含む情報通信技術を用いた研究に従事しており、現在は情報工学が最も中心的な専門分野になります。情報通信技術は新しい技術であり、急速に進化しています。また、近年では、量子コンピュータや高速大容量通信などのハードウェアの進化も著しいです。こうした時代の到来こそ、本学会が進出できる範囲が広がり、会員の皆様がこれまで以上に活躍する機会が増えるのではないのでしょうか。私も、ワクワク感を忘れずに、好奇心を持って、皆様と一緒に最先端のチャレンジングな研究をしたいと思っています。

本学会には、上述のように、産官学民の様々な方々が参加してくださっています。また、最近では、若い学生会員の皆様も増えています。本学会では、こうした様々な会員の皆様が連携し、GIS研究や技術開発を進めることができる環境が既に整っています。本学会の今後のいっそうの発展に向けて一緒に進んでいきましょう。

第33回学術研究発表大会のお知らせ

第33回地理情報システム学会学術研究発表大会を、京都大学宇治キャンパス（京都府宇治市）にて10月26日（土）・27日（日）に対面で開催いたします。

下記日程で、企画セッション、研究発表（口頭およびポスター）、および、参加登録を受け付けます。2023年度から研究発表や参加申込にはConfitを利用しています。詳細は、大会Web <<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/gisa2024>>をご確認下さい。

申込日程

企画セッションの申込	7月15日（月・祝）正午まで	
研究発表（口頭およびポスター）の申込	7月15日（月・祝）正午まで	
講演論文集用論文 PDF の投稿	8月1日（木）～8月31日（土）正午	
機器展示および業界説明コーナーの申し込み期限	8月15日（木）まで	
参加登録	早期登録	9月3日（火）～9月30日（月）23:59
	通常登録	10月1日（火）～大会開催まで

参加費

銀行振込の場合でも大会参加費は1人分ずつ支払いをお願いします。

大会参加費	早期登録 (9/3～30)	通常登録 (10/1～)
正会員、賛助会員卒の参加者	4,000円	6,000円
学生会員	3,000円	4,000円
非会員（大学生以上70歳未満）	7,000円	8,000円
高校生以下、70歳以上	無料（必ず年齢を証明する資料をご提示ください）	
企画セッションのみの参加 ^{*)}	無料	

^{*)} 企画セッションのみの参加の場合は、投稿論文を閲覧することはできません。

懇親会費

決定次第、大会Webでお知らせします。

1. 企画セッション

シンポジウム・ワークショップ・ハンズオン・チュートリアル・GIS技術紹介など形式は問いません。1セッション [1時間40分] を単位とし、複数セッションにまたがることも可能です。正会員・学生会員・賛助会員が、企画を提案できます。特に、各分科会の成果発表を行うまたとない機会ですので、積極的な企画をお願いいたします。

■ 企画セッション申込

・受付期間：7月15日（月・祝）正午まで

- ・申込要領：
申込フォーム (<https://forms.gle/ocwK7mtWSp6boFhLA>) から下記の情報をお知らせ下さい。
 1. セッション企画名
 2. 種類 (シンポジウム, ワークショップ, ハンズオンセッションなど)
 3. 代表者の氏名, 所属, メールアドレス
 4. 概要 (400 字程度)
 5. 必要セッション数
 6. 必要機材
 7. 想定出席者数
- ・問い合わせ先：
メールで gisa.organized.session@gmail.com までお願いいたします。
- ・企画の実施可否は, 7 月末までにメールでご連絡いたします。なお, 開催日時ご希望に添えない場合がございますので, 予めご了承下さい。

2. 研究発表

口頭発表とポスター発表があり, 日本語または英語で発表できます。口頭発表・ポスター発表を重複して行うこともできます。

投稿論文は大会 Web で (発表者・参加登録者以外への公開は大会終了から 1 年経過後を予定) します。2023 年度から CD-ROM の講演論文集は発行していません。

口頭発表: 地理情報システムに関する理論研究・応用研究の成果で, 原則として未発表のものに限り。また, 独創性・完結性がないものの発表は認めません。論文提出が必要です。持ち時間は, 発表 15 分・質疑 5 分の計 20 分です。

ポスター発表: 研究形成段階の討論や調査・活動報告などでも結構です。自由に活発な情報交換の場としてご利用下さい。論文提出は任意です。ポスターは大会期間中随時掲示し, コアタイムを設定します。

口頭発表・ポスター発表共に, 商業宣伝的な内容は認めません。機器展示や企画セッションにお申し込み下さい。

なお, 大会での発表後, (1)「GIS 上級技術者」への申請や, (2)「測量系 CPD 学習プログラム」への登録が可能です。(2)については, 希望者は大会終了後の当該年度内に, 事務局に氏名と発表論題とをお申し出ください。口頭・ポスターの発表者に CPD ポイントが付与されます。

■ 応募資格

- (1) 発表者は, 正会員, 学生会員, または, 賛助会員枠で指定する (1 口につき 1 名) 個人に限ります。ただし, 共同研究者 (連名者) については会員資格の有無は問いません。
- (2) 発表は, 1 名につき 1 題に限ります。ただし, 以下の場合は, 発表の重複が認められます。

- ・複数の発表の連名者となること。
 - ・通常セッションと企画セッションの両方で発表を行うこと。
- (3) プログラムで指定された日時に発表できること。発表日時は指定できません。また, プログラム編成上の都合により発表総数を制限する場合があります。
 - (4) 会員は, 2024 年度までの年会費完納者であること。

■ 発表申込と発表用データ提出の手続き

申込は Confit で受け付けます。申込手順に関する詳細は, 大会 Web をご覧下さい。

(1) 発表申込

受付期間: 7 月 15 日 (月・祝) 正午 (必着)

- ・入力された氏名・発表題目を大会 Web で公開します。受付期間終了後の修正は一切受け付けません。
- ・発表の可否は, 7 月末までに申込者にメールでご連絡します。

(2) 講演論文集用原稿の提出

受付期間: 8 月 1 日 (木) ~ 8 月 31 日 (土) 正午 (必着)

- ・PDF 形式の論文をアップロードして下さい。作成要領は, 大会 Web に掲載するテンプレートファイルをご覧ください。なお, 今年度より『GIS-理論と応用』と同じ書式で 4 ページを上限とします。
- ・受付期間外に提出された原稿は一切受け付けられません。発表を取り消させていただきます。
- ・使用言語は日本語または英語です。
- ・発表原稿の編集・出版の権利は, 地理情報システム学会に帰属します。

3. 第 20 回 大会優秀発表賞

本学会の学生会員の発表レベル向上を図るため「大会優秀発表賞」を設けています。以下の条件を満たす方が審査対象です。

- ・本学会の学生会員であること (7 月 15 日までに事務局に入会届が到着した方を含みます。ただし, 2024 年度までの年会費完納者)
- ・修士号未修得であること
- ・口頭発表の発表者であること

研究・論文・発表の内容が優れた発表者を司会者や審査員が推薦し, 学会賞委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

受賞者には賞状を後日送付し, GISA ニュースレター 132 号に氏名と所属を公表します。また, 『GIS-理論と応用』 Vol.32, No.2 に発表要旨を掲載 (モノクロ印刷のみ) します。受賞者は 11 月 15 日 (金) 正午までに A4 用紙 1 枚の原稿提出にご協力下さい。

4. 第 13 回 ポスターセッション賞

ポスターセッションの議論活性化を図るため「ポスターセッション賞」を設けています。ポスターセッション発表者全

員が審査対象です。

受賞者には賞状を後日送付し、GISA ニュースレター132号に氏名と所属を公表します。また、『GIS-理論と応用』Vol.32, No.2に発表要旨を掲載(モノクロ印刷のみ)します。受賞者は11月15日(金)正午までにA4用紙1枚の原稿提出にご協力下さい。

5. 機器展示および業界説明コーナー

機器展示: PC, または, android/iOS タブレット上で稼動する GIS のデモソフトの展示。

■ 展示申込

- 受付期間: 7月1日(月)～8月15日(木)
 - ※ 8月1日(木)までの受付分は, 展示概要を GISA ニュースレター131号に掲載します。(以降の受付も, 会場配布パンフレット, 及び, 大会 Web には掲載します.)
- 応募資格: 学会賛助会員に限ります。出展費用は無料です。
- 応募要領: 以下を明記の上, E-mail にて事務局宛にお申し込み下さい。
 - ①会社名 ②担当者名 ③連絡先電話番号, E-mail ④展示ソフト名称(業界説明コーナー出展の場合は不要) ⑤展示概要(200字程度。ニュースレターや会場配布のパンフレット及び大会 Web に掲載します) ⑥必要電源の個数
- 出展可否の連絡: 9月20日(金)までに展示要項と共に E-mail で通知します。

※ 会場の都合により, 各日の展示件数, 及び, 1社当たりの機器構成(電気容量)について, 事務局が調整することがあります。

※ 業界説明コーナーは, パンフレット設置等のスペースがあれば, 大会直前のお申し込みでも受け付けます。事務局までご相談下さい。

代議員(社員)総会・理事会報告

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第94回理事会議事録 [理事 中谷 友樹]

開催日時: 令和6年5月18日(土)13時00分～13時45分
開催場所: 電気通信大学 新C棟 C-403

理事8名が出席し, 定足数を満たして成立した。

審議事項:

- 第1号議案 2023年度事業報告について
中谷事務局長より説明があり, これを承認した。
- 第2号議案 2023年度決算と会計監査について
山田理事より説明があり, これを承認した。
- 第3号議案 2024年度事業計画について
中谷事務局長より説明があり, これを承認した。学会賞の受賞該当者が少ないことから, 改善の方策について次年度に検討することにした。

第4号議案 2024年度予算案について

山田理事より 2024年度予算案について説明がなされ, これを承認した。

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第21回社員総会議事録 [理事 中谷 友樹]

開催日時: 令和6年5月18日(土)14時00分～14時45分
開催場所: 電気通信大学 新C棟 C-403

本年度の社員総数49名のうち26名が出席し, 16名が議決権書面を提出したことから, 本総会は定足数を満たして成立した。

審議事項:

- 第1号議案 2023年度事業報告について
中谷事務局長より報告がなされ, これを承認した。
- 第2号議案 2023年度決算と会計監査について
山田会計担当理事より報告がなされ, これを承認した。
- 第3号議案 永年会員承認について
厳会長より説明がなされ, これを承認した。
- 第4号議案 名誉会員承認について
厳会長より確井照子会員を名誉会員として推薦する説明がなされ, これを承認した。
- 第5号議案 分科会の規定改正案について
大場理事より説明がなされた。採決の結果, 出席者26名の賛成, 紙面による議決権の行使16名の賛成と0名の反対があり, 定款第59条に則り, 総社員の議決権の3分の2以上の賛成を得て, 提案された議案を可決した。なお, この定款と会員規約は令和6年5月18日から施行される。
- 第6号議案 会員に関する定款等の改定案について
大場理事より説明がなされた。採決の結果, 出席者26名の賛成, 紙面による議決権の行使16名の賛成と0名の反対があり, 定款第59条に則り, 総社員の議決権の3分の2以上の賛成を得て, 提案された議案を可決した。なお, この定款と会員規約は令和6年5月18日から施行される。
- 第7号議案 理事及び監事の任期満了に伴う退任について
厳会長より説明がなされ, これを承認した。
- 第8号議案 理事及び監事の選任について
厳会長より説明がなされ, これを承認した。

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第95回理事会議事録 [理事 中谷 友樹]

開催日時: 令和6年5月18日(土)15時00分～15時40分
開催場所: 電気通信大学 C棟ラウンジ

審議事項:

- 第1号議案 会長及び副会長の選任について
厳監事より説明があり, これを承認した。これを受けて, 山本新会長が議長を交代した。

第2号議案 事務局長の選任について および 各委員会担当理事の指名について

山本新会長より事務局長について提案があり、これを承認した。また、各委員会の担当理事の指名がなされ、これを承認した。

第3号議案 2024年度事業計画について

中谷理事より説明があり、これを承認した。

第4号議案 2024年度予算案について

山田理事より説明がなされ、これを承認した。

**■ 一般社団法人地理情報システム学会
第22回社員総会議事録 [理事 中谷 友樹]**

開催日時：令和6年5月18日（土）14時00分～14時45分
開催場所：電気通信大学 新C棟 C-403

報告事項：

報告1 会長・副会長・事務局長の紹介について

山本新会長より、会長・副会長・事務局長、事務局長補佐、および各委員担当理事について紹介がなされた。

報告2 2024年度事業計画について

中谷理事（前事務局長）より、報告がなされた。

報告3 2024年度予算について

山田理事（前財務担当理事）より、報告がなされた。

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般社団法人 地理情報システム学会

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[170]	[200]	[△ 30]
特定資産受取利息	170	200	△ 30
受取会費	[11,601,000]	[12,192,000]	[△ 591,000]
正会員受取会費	8,684,000	9,313,000	△ 629,000
学生会員受取会費	607,000	579,000	28,000
賛助会員受取会費	2,310,000	2,300,000	10,000
過年度受取会費	[20,000]	[30,000]	[△ 10,000]
大会参加費	[1,711,000]	[1,051,000]	[660,000]
正会員	616,000	512,000	104,000
学生会員	339,000	282,000	57,000
賛助会員	0	8,000	△ 8,000
非会員	264,000	249,000	15,000
懇親会参加費	492,000	0	492,000
刊行物収益	[567,010]	[1,318,582]	[△ 751,572]
機関誌(GIS理論と応用)収益	(406,960)	(868,549)	(△ 461,589)
別刷作成代	44,000	45,000	△ 1,000
カラー頁作成代	0	440,000	△ 440,000
機関誌頒布収益	362,960	383,549	△ 20,589
大会誌収益	(0)	(164,000)	(△ 164,000)
大会講義集(CD-ROM)頒布収益	0	164,000	△ 164,000
受取刊行物送料	0	25,233	△ 25,233
掲載料収益	160,050	260,800	△ 100,750
資格・教育認定事業収益	[370,036]	[225,000]	[145,036]
申請料収益	370,000	180,000	190,000
認定登録料収益	0	45,000	△ 45,000
雑収益	36	0	36
支部事業収益	[71,000]	[0]	[71,000]

科 目	当年度	前年度	増 減
関西支部	(71,000)	(0)	(71,000)
セミナー運営協力金収益	71,000	0	71,000
受取補助金等	[38,353]	[50,000]	[△ 11,647]
日本地図センター研究活動支援金	38,353	50,000	△ 11,647
雑収益	[245,075]	[281,906]	[△ 36,831]
受取利息	80	90	△ 10
その他収益	244,995	281,816	△ 36,821
経常収益計	14,623,644	15,148,688	△ 525,044
(2) 経常費用			
大会開催費	[2,242,296]	[1,454,360]	[787,936]
臨時雇賃金	324,343	222,749	101,594
会場借料	230,168	482,900	△ 252,732
旅費交通費	8,622	284,230	△ 275,608
通信運搬費	1,850	133,158	△ 131,308
消耗品費	66,099	324,858	△ 258,759
支払手数料	936,214	6,465	929,749
懇親会費	675,000	0	675,000
刊行物制作費	[1,624,986]	[1,958,660]	[△ 333,674]
会報印刷費	74,250	88,660	△ 14,410
機関誌(GIS理論と応用)印刷費	(1,550,736)	(1,760,000)	(△ 209,264)
別刷印刷費	0	47,300	△ 47,300
カラー頁印刷費	0	446,600	△ 446,600
機関誌本体印刷費	1,550,736	1,266,100	284,636
大会講演論文集(大会誌)印刷費	(0)	(110,000)	(△ 110,000)
大会誌(CD-ROM)制作費	0	110,000	△ 110,000
分科会運営費	[76,504]	[69,942]	[6,562]
自治体	(0)	(61,942)	(△ 61,942)
旅費交通費	0	50,560	△ 50,560
通信運搬費	0	7,378	△ 7,378
消耗品費	0	3,404	△ 3,404
支払手数料	0	600	△ 600
防災 GIS	(8,140)	(0)	(8,140)
旅費交通費	8,140	0	8,140
FOSS4G 分科会	(17,440)	(0)	(17,440)
旅費交通費	17,440	0	17,440
若手分科会	(17,040)	(8,000)	(9,040)
消耗品費	0	8,000	△ 8,000
雑費	17,040	0	17,040
GeoAI	(33,884)	(0)	(33,884)
会場費	3,250	0	3,250
会議費	7,370	0	7,370
諸謝金	22,274	0	22,274
支払手数料	990	0	990
委員会運営費	[790,758]	[625,201]	[165,557]
企画委員会	(70,000)	(100,865)	(△ 30,865)
臨時雇賃金	70,000	45,100	24,900
会場費	0	55,000	△ 55,000
支払手数料	0	765	△ 765
広報委員会	(145,200)	(0)	(145,200)
雑費	145,200	0	145,200
学会賞委員会	(26,721)	(14,760)	(11,961)
消耗品費	26,721	14,760	11,961
編集委員会	(201,300)	(198,605)	(2,695)
消耗品費	145,860	176,000	△ 30,140
支払手数料	0	605	△ 605
雑費	55,440	22,000	33,440
教育委員会	(200,462)	(310,971)	(△ 110,509)
旅費交通費	76,882	193,824	△ 116,942
通信運搬費	6,600	0	6,600
消耗品費	5,450	116,487	△ 111,037
支払手数料	330	660	△ 330
雑費	111,740	0	111,740
GIS 資格認定協会	(147,075)	(0)	(147,075)
通信運搬費	21,716	0	21,716
消耗品費	31,999	0	31,999
諸謝金	88,000	0	88,000
雑費	5,360	0	5,360
特定寄付	[0]	[20,000]	[△ 20,000]
本部事務局運営費	[9,933,245]	[11,551,975]	[△ 1,618,730]
人件費	(341,751)	(5,163,740)	(△ 4,821,989)
給料手当	341,751	3,539,395	△ 3,197,644

収支計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般社団法人 地理情報システム学会
一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
賞与	0	1,287,000	△ 1,287,000
退職給付費用	0	337,345	△ 337,345
臨時雇賃金	854,737	1,240,640	△ 385,903
法定福利費	46,815	749,490	△ 702,675
福利厚生費	0	67,854	△ 67,854
会場借料	5,214	0	5,214
旅費交通費	105,137	282,274	△ 177,137
通信運搬費	(544,538)	(620,363)	(△ 75,825)
通信費	395,152	233,277	161,875
運搬費	149,386	387,086	△ 237,700
減価償却費	(309,760)	(309,760)	(0)
ソフトウェア償却費	309,760	309,760	0
消耗品費	211,675	377,608	△ 165,933
修繕費	81,180	100,320	△ 19,140
賃借料	125,510	1,717,472	△ 1,591,962
租税公課	102,000	80,036	21,964
支払負担金	30,000	10,000	20,000
支払手数料	909,852	16,710	893,142
委託費	5,842,990	0	5,842,990
支払報酬	297,000	396,000	△ 99,000
その他	125,086	419,708	△ 294,622
地方支部運営費	[389,064]	[292,061]	[97,003]
北海道支部	(35,200)	(30,165)	(5,035)
消耗品費	35,200	30,000	5,200
支払手数料	0	165	△ 165
関西支部	(215,008)	(146,470)	(68,538)
臨時雇賃金	64,372	66,500	△ 2,128
会場費	76,146	30,595	45,551
会議費	21,042	21,600	△ 558
旅費交通費	30,150	0	30,150
通信運搬費	0	26,400	△ 26,400
消耗品費	21,318	0	21,318
支払手数料	1,980	1,375	605
中国支部	(80,200)	(79,952)	(248)
会場費	16,500	16,500	0
旅費交通費	52,200	4,510	47,690
通信運搬費	0	2,662	△ 2,662
消耗品費	11,390	56,280	△ 44,890
雑費	110	0	110
四国支部	(58,656)	(35,474)	(23,182)
臨時雇賃金	0	13,200	△ 13,200
諸謝金	58,656	22,274	36,382
経常費用計	15,056,853	15,972,199	△ 915,346
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 433,209	△ 823,511	390,302
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 433,209	△ 823,511	390,302
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 433,209	△ 823,511	390,302
一般正味財産期首残高	67,445,095	68,268,606	△ 823,511
一般正味財産期末残高	67,011,886	67,445,095	△ 433,209
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	67,011,886	67,445,095	△ 433,209

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
特定資産運用収入	[0]	[170]	[△ 170]
特定資産利息収入	0	170	△ 170
会費収入	[11,155,000]	[11,601,000]	[△ 446,000]
正会員	8,472,000	8,684,000	△ 212,000
学生会員	533,000	607,000	△ 74,000
賛助会員	2,150,000	2,310,000	△ 160,000
過年度会費収入	[0]	[20,000]	[△ 20,000]
大会参加費収入	[3,020,000]	[1,711,000]	[1,309,000]
正会員	1,510,000	616,000	894,000
学生会員	474,000	339,000	135,000
賛助会員	72,000	0	72,000
非会員	0	264,000	△ 264,000
非会員(学部生)	464,000	0	464,000
懇親会参加費	500,000	492,000	8,000
刊行物収入	[700,000]	[567,010]	[132,990]
機関誌(GIS-理論と応用)収入	(700,000)	(406,960)	(293,040)
別刷作成代	0	44,000	△ 44,000
機関誌頒布収入	700,000	362,960	337,040
掲載料収入	0	160,050	△ 160,050
資格・教育認定事業収入	[450,000]	[370,036]	[79,964]
申請料収入	150,000	370,000	△ 220,000
認定登録料収入	100,000	0	100,000
更新料収益	200,000	0	200,000
雑収入	0	36	△ 36
支部事業収入	[110,000]	[71,000]	[39,000]
関西支部	(80,000)	(71,000)	(9,000)
セミナー運営協力金収益	80,000	71,000	9,000
九州支部	30,000	0	30,000
補助金等収入	[0]	[38,353]	[△ 38,353]
日本地図センター研究活動支援金	0	38,353	△ 38,353
雑収入	[80,000]	[192,626]	[△ 112,626]
受取利息収入	0	64	△ 64
その他収入	80,000	192,562	△ 112,562
事業活動収入計	15,515,000	14,571,195	943,805
2. 事業活動支出			
大会開催費支出	[2,185,000]	[2,242,296]	[△ 57,296]
臨時雇賃金支出	250,000	324,343	△ 74,343
会場借料支出	380,000	230,168	149,832
旅費交通費支出	55,000	8,622	46,378
通信運搬費支出	30,000	1,850	28,150
消耗品費支出	0	66,099	△ 66,099
手数料支出	1,020,000	936,214	83,786
懇親会費支出	450,000	675,000	△ 225,000
刊行物制作費支出	[1,880,000]	[1,624,986]	[255,014]
会報印刷費支出	180,000	74,250	105,750
機関誌印刷費支出	(1,700,000)	(1,550,736)	(149,264)
機関誌本体印刷費支出	1,700,000	1,550,736	149,264
分科会支出	[420,000]	[76,504]	[343,496]
自治体	(180,000)	(0)	(180,000)
会場費支出	25,000	0	25,000
会議費支出	5,000	0	5,000
旅費交通費支出	100,000	0	100,000
通信運搬費支出	25,000	0	25,000
消耗品費支出	25,000	0	25,000
防災 GIS	(0)	(8,140)	(△ 8,140)
旅費交通費支出	0	8,140	△ 8,140
FOSS4G 分科会	(80,000)	(17,440)	(62,560)
旅費交通費支出	80,000	17,440	62,560
若手分科会	(70,000)	(17,040)	(52,960)
臨時雇賃金支出	16,000	0	16,000
雑支出	54,000	17,040	36,960
GeoAI	(90,000)	(33,884)	(56,116)
臨時雇賃金支出	90,000	0	90,000
会場費支出	0	3,250	△ 3,250
会議費支出	0	7,370	△ 7,370

科 目	予算額	決算額	差 異
諸謝金支出	0	22,274	△ 22,274
雑支出	0	900	△ 900
委員会支出	[1,613,000]	[790,758]	[822,242]
企画委員会支出	(140,000)	(70,000)	(70,000)
臨時雇賃金支出	60,000	70,000	△ 10,000
諸謝金支出	50,000	0	50,000
負担金支出	30,000	0	30,000
広報委員会支出	(260,000)	(145,200)	(114,800)
消耗品費支出	110,000	0	110,000
雑支出	150,000	145,200	4,800
学会賞委員会支出	(60,000)	(26,721)	(33,279)
消耗品費支出	60,000	26,721	33,279
編集委員会支出	(503,000)	(201,300)	(301,700)
臨時雇賃金支出	203,000	0	203,000
消耗品費支出	300,000	145,860	154,140
雑支出	0	55,440	△ 55,440
教育委員会支出	(300,000)	(200,462)	(99,538)
旅費交通費支出	130,000	76,882	53,118
通信運搬費支出	20,000	6,060	13,940
消耗品費支出	0	5,450	△ 5,450
手数料支出	0	330	△ 330
雑支出	150,000	111,740	38,260
資格認定協会(GISCA)支出	(350,000)	(147,075)	(202,925)
会議費支出	20,000	0	20,000
旅費交通費支出	100,000	0	100,000
通信運搬費支出	30,000	21,716	8,284
消耗品費支出	60,000	31,999	28,001
諸謝金支出	60,000	88,000	△ 28,000
雑支出	80,000	5,360	74,640
特定寄付支出	[50,000]	[0]	[50,000]
本部事務局運営費支出	[9,491,350]	[9,571,052]	[△ 79,702]
人件費支出	(300,000)	(289,318)	(10,682)
給料手当支出	300,000	289,318	10,682
臨時雇賃金支出	1,200,000	854,737	345,263
法定福利費支出	0	46,815	△ 46,815
会場借料支出	0	5,214	△ 5,214
旅費交通費支出	0	105,137	△ 105,137
通信運搬費支出	(600,000)	(544,538)	(55,462)
通信費支出	300,000	395,152	△ 95,152
運搬費支出	300,000	149,386	150,614
消耗品費支出	100,000	211,675	△ 111,675
修繕費支出	0	81,180	△ 81,180
賃借料支出	0	125,510	△ 125,510
租税公課支出	0	102,000	△ 102,000
負担金支出	0	30,000	△ 30,000
手数料支出	1,737,750	909,852	827,898
委託費支出	4,949,450	5,842,990	△ 893,540
報酬支出	465,000	297,000	168,000
その他	139,150	125,086	14,064
地方支部運営費支出	[599,000]	[389,064]	[209,936]
北海道支部	(70,000)	(35,200)	(34,800)
会場費支出	30,000	0	30,000
消耗品費支出	0	35,200	△ 35,200
雑支出	40,000	0	40,000
東北支部	(39,000)	(0)	(39,000)
臨時雇賃金支出	5,000	0	5,000
旅費交通費支出	24,000	0	24,000
諸謝金支出	10,000	0	10,000
関西支部	(200,000)	(215,008)	(△ 15,008)
臨時雇賃金支出	15,000	64,372	△ 49,372
会場費支出	98,000	76,146	21,854
会議費支出	6,000	21,042	△ 15,042
旅費交通費支出	10,000	30,150	△ 20,150
通信運搬費支出	46,000	0	46,000
消耗品費支出	5,000	21,318	△ 16,318
諸謝金支出	20,000	0	20,000
手数料支出	0	1,980	△ 1,980
中国支部	(80,000)	(80,200)	(△ 200)
会場費支出	17,000	16,500	500
旅費交通費支出	41,000	52,200	△ 11,200

科 目	予算額	決算額	差 異
消耗品費支出	10,000	11,390	△ 1,390
諸謝金支出	10,000	0	10,000
雑支出	2,000	110	1,890
四国支部	(100,000)	(58,656)	(41,344)
会場費支出	30,000	0	30,000
消耗品費支出	10,000	0	10,000
諸謝金支出	60,000	58,656	1,344
九州支部	(110,000)	(0)	(110,000)
会場費支出	50,000	0	50,000
旅費交通費支出	50,000	0	50,000
消耗品費支出	10,000	0	10,000
事業活動支出計	16,238,350	14,694,660	1,543,690
事業活動収支差額	△ 723,350	△ 123,465	△ 599,885
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
敷金・保証金戻り収入	[0]	[237,300]	[△ 237,300]
保証金戻り収入	0	237,300	△ 237,300
投資活動収入計	0	237,300	△ 237,300
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	237,300	△ 237,300
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	-----	0
当期収支差額	△ 723,350	113,835	△ 837,185
前期繰越収支差額	0	45,670,431	45,670,431
次期繰越収支差額	△ 723,350	45,784,266	△ 46,507,616

学会からのお知らせ

■ 2024 年度 GISA 学会賞募集

(学会賞委員会委員長 井上 亮)

2024 年度地理情報システム学会賞 6 部門の募集を行います。
学会賞各部門の対象者および提出物の内容、受賞者選考・決定方法等は、以下のホームページでご確認ください。

<https://gisa-japan.org/awards/guideline.html>

募集部門：

「研究奨励部門」(本年 3 月末日時点で 35 歳以下の者)

「学術論文部門」, 「ソフトウェア・データ部門」,

「教育部門」, 「実践部門」, 「著作部門」

応募期限：2024 年 7 月 12 日 (金)

提出先：地理情報システム学会事務局

自薦, 他薦を問わず, たくさんのご応募をお待ちしております。選考結果は, 9 月末日までに応募者各位にご連絡いたします。また, 受賞者は, 本年 10 月に開催予定の第 33 回学術研究発表大会で表彰されます。

■ 2023年度 GIS教育実践アワード ～初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰～ について（予告）

2024年度もGIS教育実践アワードの表彰事業を予定しております。募集要項および過去の授賞については、以下のURLでご確認下さい。2017年度から、受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。

<https://gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間：2024年7月1日(月)～8月31日(土) 17時必着
表彰（原則各1点以内）：

- 国土交通大臣賞（総合的な観点）
- 地理情報システム学会賞（GISの効果的な活用の観点）
- 日本地図センター賞（地図の効果的な利用の観点）
- ESRI ジャパン賞（GISの教育的な利用の観点）

主催・後援（予定を含む）：

- 主催：一般社団法人 地理情報システム学会
- 後援：国土交通省、文部科学省、一般財団法人 日本地図センター、ESRI ジャパン株式会社、一般社団法人 人文地理学会、日本地図学会、公益社団法人 日本地理学会、毎日新聞社

10月開催の第33回地理情報システム学会学術研究発表大会内で表彰式を執り行います。選定された個人またはグループの代表者には、事例発表をしていただくことを予定しています。なお、対面で参加される事例発表者の旅費等については主催者側で全部または一部を負担の予定です。

委員会・支部・分科会からのお知らせ

■ GeoAI Seminar'2024 Spring 報告

2024年4月19日16:00-20:30に、慶應義塾大学SFC研究所みらいのまちをつくる・ラボ（品川区東大井5-11-2 K-11ビル7階）にて、GIS学会のGeoAI分科会企画によるGeoAI Open Talk「人流データの表と裏」を開催しました。ジオテクノロジー株式会社より人流データのシステム展示も同時に行いました。学会内外の企業、学校、マスコミ関係者63名の方が申し込み、当日50名の方が参加されました。

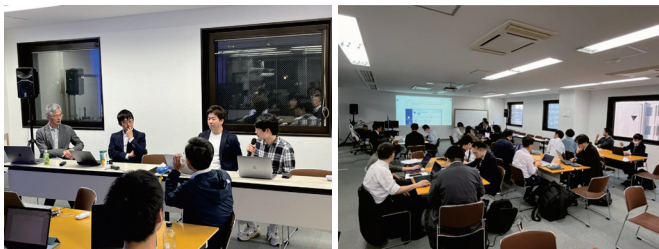
前半（16:00-18:00）では昨年10月の学術大会時企画セッションに続けて、中央大学大場章弘助教によるモデレートのもとでハンズオンを行い、地理空間的生成系AIツール、LLM-GEOを体験しました。今回は参加者全員1つ以上のケースを完遂し、GeoAIツールによるマップ作成の流れを体験できました。ハンズオン終わりにGeoAIツールの構造と新規性を確認し、実用可能性を検討しました。

後半（18:30-20:30）では、ジオテクノロジー株式会社秋本和紀GTダイレクト営業本部長によるモデレートのもとでパネル討論を行いました。巖網林GIS学会長、東京都市大学秋山祐樹教授、ジオテクノロジー株式会社加瀬正和デジタルデータアナリティクスディレクター、株式会社unerry住川

俊多データビジネスVPがパネラーとして、それぞれ「GeoAIにおける人流データの可能性と課題」、「人流データ活用の最前線」、「人流ビッグデータ分析基盤とその活用」、「人流データの活用用途の拡大」について話題を提供いただきました。その後、パネラーらが互いに疑問やヒントになったものについて、たとえば、GeoAIの現状、今後の見通し、人流ビッグデータの収集方法、精度検証、信頼性評価など、意見を交換しました。また会場からビッグデータストレージの管理、応用開発、産学交流などについて活発に意見や提言があってパネラーらと議論しました。最後に巖会長はハンズオンと討論会の全体を振り返りながら、GeoAIはAI for GIS/GIS for AIの両方からGISの発展に貢献する可能性があって、産官学一同で研究・交流を深めていくことが必要で、学会活動を応援するように呼びかけました。

次回GeoAI Open Talkは2024年7月5日同時間帯（場所未定）に開催します。

**GeoAIとは空間情報に優れるGISと知識処理に優れるAIが融合して社会課題の解決と持続可能な価値創出に向けた取り組みです。国内ではGIS学会GeoAI分科会(代表、慶應義塾大学巖網林教授)が中心になって研究調査を進めています。*



2024年5月31日現在の個人会員 962名、賛助会員 50社

賛助会員

朝日航洋(株)、アジア航測(株)、アドソル日進(株)、(株)インフォマティクス、ESRI ジャパン(株)、NEC ソリューションイノベータ(株)、愛媛県土地家屋調査士会、応用技術(株)、大阪土地家屋調査士会、(株)かんこう、関東中部 G 空間情報技術研究会、(財)岐阜県建設研究センター、九州 GIS 技術研究会、近畿北陸 G 空間情報技術研究会、(株)こうそく、国際航業(株)、国土情報開発(株)、(株)古今書院、GIS 支援センター、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)、(株)ジオテクノ関西、(株)ジオテクノロジーズ、(株)ゼンリン、中四国 G 空間情報技術研究会、デジタル北海道研究会、東北 G 空間情報技術研究会、(株)ドーン、長野県 G 空間情報技術協会、にいがた GIS 協議会、日本工営都市空間(株)、日本情報経済社会推進協会、日本スーパーマップ(株)、(財)日本測量調査技術協会、(財)日本地図センター、(一財)日本デジタル道路地図協会、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)パスコ、北海道 G 空間情報技術研究会、(株)マップクエスト、(株)マップル、(株)松本コンサルタンツ、三菱電機(株)、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)、(財)リモート・センシング技術センター、経済産業省特許庁、国土交通省国土地理院、総務省統計局統計研修所、(独)統計センター、長野県環境保全研究所、福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●自治体：小泉和久（千葉県浦安市）
事務局：青木和人（あおきGIS・オープンデータ研究所）
Tel：050-5850-3290, E-mail：kazu013057@gmail.com ●ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所）
Tel：03-5379-5601, E-mail：info@georetail.tokyo ●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所）
Tel：0774-38-4333, E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp ●地図・空間表現：若林芳樹（東京都立大学）
Tel：042-677-2601, E-mail：wakaba@tmu.ac.jp | <ul style="list-style-type: none"> ●FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学）
連絡先：嘉山陽一（朝日航洋(株)）
Tel：049-244-4032, E-mail：youichi-kayama@aeroasahi.co.jp ●若手分科会：関口達也（京都府立大学）
Tel：075-703-5428, E-mail：ta-sekiguchi@kpu.ac.jp ●GeoAI：巖網林（慶應義塾大学）
Tel：0466-49-3453, E-mail：yan@sfc.keio.ac.jp ●地理情報標準調査会：村上広史（青山学院大学）
連絡先：太田守重（国際航業株式会社）
Tel：03-5656-8685, E-mail：morishige_ota@kk-grp.jp |
|--|--|

地方支部の連絡先一覧

- | | |
|--|--|
| <p><北海道支部>
支部長：三好達也（株式会社ドーコン）
連絡先：NPO 法人 Digital 北海道研究会（内）
Tel: 011-299-8104, E-mail: gisahokkaido@dghok.com</p> <p><東北支部>
支部長：井上亮（東北大学）
Tel：022-795-7478, E-mail：rinoue@tohoku.ac.jp</p> <p><中部支部>
支部長：福井弘道（中部大学）
連絡先：杉田暁（中部大学）
Tel：0568-51-9894(内線 5714), E-mail：satoru@isc.chubu.ac.jp</p> <p><関西支部>
支部長：吉川真（大阪工業大学）
連絡先：田中一成（大阪工業大学）
Tel：06-6954-4293, E-mail：gisa@civil.oit.ac.jp</p> | <p><中国支部>
支部長：川瀬正樹（広島修道大学）
Tel：082-830-1210, E-mail：kawase@shudo-u.ac.jp</p> <p><四国支部>
支部長：渡辺公次郎（徳島大学）
E-mail：kojiro@tokushima-u.ac.jp</p> <p><九州支部>
支部長：三谷泰浩（九州大学）
Tel：092-802-3399, E-mail：gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp</p> <p><沖縄支部>
支部長：崎浜靖（沖縄国際大学）
E-mail：sakihama@okiu.ac.jp
連絡先：澤岬直彦(NPO 法人沖縄地理情報システム協議会)
Tel：098-863-7528
E-mail：takushi7015keisayasaki@gmail.com</p> |
|--|--|

■ 編集後記 ■

1年ぶりにニューズレターを担当しましたが、この間、賛助会員様も増え、新たな分科会もでき、喜んで加筆させて頂きました。一方、個人会員数については、年度内の周期はあるものの、昨年同時点に比べて少し減少してしまいました。学会員それぞれが本学会のさらなる発展を目指して頑張っていく必要があります。さて、編集期間中に能登地方で震度5強の揺れを観測する地震がありました。震災「後」の復旧・復興フェイズと位置づけさせてくれない自然の非情さを感じます。発災時における情報の集約や提供には地理情報技術が徐々に活用されるようになってきましたが、本学会での様々な取り組みの成果が今後ますます人々の安心・安全への貢献につながっていくことを望んでいます。（大阪産業大学 吉川耕司）

地理情報システム学会ニューズレター
第130号 ●発行日 2024年6月25日

■発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム内
一般社団法人地理情報システム学会事務局

TEL：03-6267-4550 / FAX：03-6267-4555

E-mail：maf-gisa@mynavi.jp

URL：https://www.gisa-japan.org/